

平成31年度 事業計画

I. 基本方針

障害者の権利擁護の推進については、障害に関する法的整備を踏まえ、我が国も国連の障害者権利条約を批准し、平成28年4月から、障害者差別解消法の施行、本県においても、障害者の人権を尊重する条例が施行されました。

しかしながら、法律や条例ができたからと言って、差別や偏見が直ぐ無くなるものではありません。虐待事件も後を絶ちません。平成28年7月に神奈川県相模原市で起きた痛ましい事件に接して、障害のある人もない人も、一人ひとりがかかけがえのない存在という価値観が、まだまだ浸透していない気がします。

国では、2020年のパラリンピックに向けて国民全体を巻き込んだ、「心のバリアフリー」の取り組みを展開しており、この機を活かして、私たち育成会はさらに団結して、本人の幸せと家族の安心につながるような地域共生社会づくりを進めてまいります。

II. 基本テーマ

地域で信頼関係を築きながら、自分らしく生きる地域共生社会をめざし、ともに手をつなごう

III. 事業活動

1. 施策推進活動

(1) 県大会・研修事業

- | | | | |
|---|----------------|------------------|---------------|
| ① | 富山県育成会大会 | 6月23日(日) | 射水市(高周波文化ホール) |
| ② | 東海北陸大会石川大会 | 9月14日(土)～15日(日) | 石川県金沢市 |
| ③ | 全国大会 | 11月23日(土)～24日(日) | 熊本県熊本市 |
| ④ | 全国事業所協議会全国研修大会 | 開催期日未定 | |
| ⑤ | 会員向け研修会の充実 | | |

(2) 啓発促進事業

- ① 県育成会「手をつなぐとやま」会報 年4回発行
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会機関誌「手をつなぐ」の普及拡大
- ③ 「心のとも運動」(鉛筆等頒布)による社会啓発
- ④ 育成会ホームページのリニューアル(4月予定)

(3) 権利擁護の推進

- ① 富山県予算要望(継続)
- ② 権利擁護推進委員会活動の充実(エリア・支部活動の展開)
 - ・学齢期支援プロジェクトの推進
 - ・親亡き後対策プロジェクトの推進
- ③ 富山障害フォーラムの活動(身体・知的・精神・聴覚・視覚・障連協の障害者6団体)
 - ・国連障害者権利条約と県条例の県民への周知啓発活動(街頭キャンペーン、フォーラム)

- ・差別禁止や合理的配慮の提供など権利擁護の推進
- ・富山県総合防災訓練をはじめ、地域防災訓練への参加
- ④ 市町村における「差別解消支援地域協議会」や「自立支援協議会」の充実や相談体制の整備
- ⑤ エリア・市町村における「地域生活支援拠点」の計画づくり
- ⑥ 警察向け冊子や高齢化冊子を活用した啓発活動や学習会の取り組み
- (4) 保護事業 「愛のコミュニティバンク」(仲間どうしによる緊急一時預かり) の普及
- (5) 家族・子育て支援
 - ① 日常の困りごとや悩みごと相談(グループワーク)の開催

2. 社会参加推進活動

- (1) 相談事業
 - ① 知的障害者相談員の研修(サポート協会共催)
 - ② 3障害の相談員合同研修(身体、精神の相談員との合同研修・交流会)
 - ③ 障害者110番事業(3障害)
- (2) ふれあい育成スポーツ大会(4エリア)とスポーツ教室開催事業(6エリア)

3. 部会活動・エリア活動支援

- (1) 4部会(施設、事業所、学齢期、本人・本人活動推進)活動の推進
- (2) 地域育成会エリア活動の推進
 - ・エリア助成やサポート協会助成の活用、会報やHPを活用した情報提供
 - ・全国育成会連合会「地域育成会活性化助成金」の活用(研修事業等)

IV. 組織の活性化

- (1) 権利擁護推進委員会活動の充実(エリア・支部活動の展開)
- (2) 正会員と賛助会員の確保(支援学校や支援学級、通所施設等への広報活動の強化)
- (3) 収入増への努力(「心のとも運動」の普及による配分金の収入増など)
- (4) 支部長研修会の充実
- (5) 特別支援学校長との懇談(継続)
- (6) 県小学校長会、県中学校長会、市町村教育委員会等への啓発
- (7) 「とやま版あんしんサポートノート」づくりとグループ学習会の推進

V. 関係団体との協力支援

県知的障害者福祉協会	県特別支援学校長会
県特別支援学校知的障害教育校長会	県特別支援教育研究会
県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会	県障害者スポーツ協会
その他関係団体との協力支援	